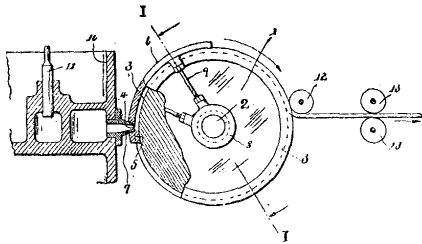


特許出願公告及び特許抜萃

特許公告抜萃

補強筋入中空チルドボール遠心力鑄造法 (14年特許出願公告第3793號, 公告14-8-5, 札幌市, 中谷次作) 本發明は表面をチルドして硬化せる部分と單なる鑄鐵部分の境界に近く全面的に又中央部は該筋の兩極部を延長せる二條の併行筋により夫々鑄着し以て鑄造球體の脆弱性による破損を防止し極めて強靱にして且つ正球體に仕上得る均質の補強筋入中空チルドボールを製造せん爲に二個の金屬製球鑄型を連接したる型を蝶番にて閉開自在ならしめ該球狀鑄型内部には稍々小徑となした球形の螺旋狀補強筋を鋼鐵又は其の他の金屬を用ひ之を該球狀鑄型の廻轉方向に於て其の兩極部を暫定的に支持せしめ該球狀鑄型内に熔融狀金屬を注入し軸を中心として急廻轉し補強筋の兩極部を延長し之に備へたる重錘に遠心力作用を受けしめつつ鑄型の内面に向ひ均一に熔融金屬と同様分散し該補強筋を整置せしめ毫も外部に露出せしむる事無からしめ緊密な螺旋狀補強筋入中空チルドボールを鑄造する方法である。

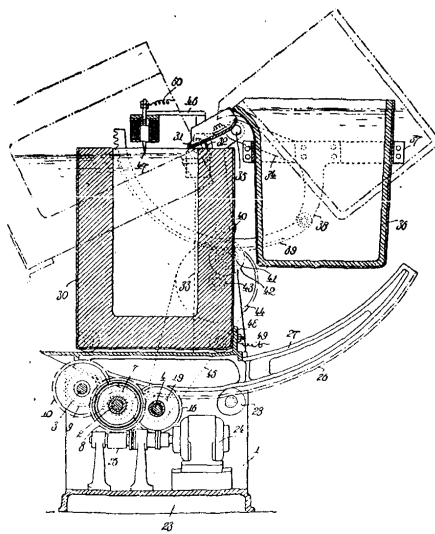
極めて薄き帶狀板の連續鑄造装置 (14年特許出願公告第3793號, 公告14-8-5 新潟市, 小池林平) 本發明は繼目無き薄き帶狀板を連續的に鑄造する装置に係り定位置に於て常に一定速度にて回轉する回轉輪の圓周上に其全周に涉り環狀凹溝を設け其の一部分を回轉輪の圓周に沿ひ閉塞する弧狀の固定蓋を該回轉輪の外周上に密接して



て定置し固定蓋にて被覆せる凹溝の一端部に逆流防止栓を設け之に近接して注湯口を設け該注湯口より凹溝内に熔融金屬を壓入すべく構成せるもので圖は其の概略を示すものである。

アルミニウム鑄塊鑄造装置 (14年特許出願公告第3794

號, 公告14-8-5, 大阪府, 大河原碌々) 本發明は取瓶より熔融アルミニウムを靜かに注入し不純物少なき健全なる鑄塊を得んとする鑄造装置に係り下面側部に弧狀の齒杆を設けたる鑄型支持臺を齒車の聯動により廻動せしめて鑄型支持臺上の鑄型を豫め傾斜せしめ置き次に取瓶を齒車の

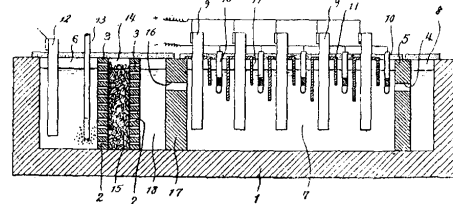


聯動により漸次傾斜せしめつつ取瓶内の熔融アルミニウムを鑄型内に傾注するに従ひ電流作用及鑄型の自重により支持臺を徐々に元の直立の位置迄復歸する如く構成せるもので圖は其の構造を示す。

内部に複数の小空所を有する煉瓦の製造方法 (14年特許出願公告第3810號, 公告14-8-5, 東京市, 田邊綾夫) 本發明は輕量にして耐久力大なる煉瓦を簡單に製造する目的を以て煉瓦材料を所定の厚みより小なる厚みに壓搾し同時に該壓搾體の上部より壓搾體の底面に表はれず且つ後に裝填すべき煉瓦材料により閉塞せられざる程度の大さの複数の穴を設け該穴を設けたる表面上より該穴を閉塞せざる様所定の厚さ迄煉瓦材料を補充壓搾し然る後燒成する方法である。

マグネシウム電解質の初期電流能率向上方法 (14年特許出願公告第3819號, 公告14-8-5, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 本發明はマグネシウム電解に於ける陽極鹽素を利用し又は含鹽素ガスを以て電解質内の水分又は其れに類似の不純物を除去し電解初期の電解能率を上昇する目的にて鹽化マグネシウム及鹽化アルカリを主成分とするマグネシウム電解融浴を電解開始前又は其の初期に於て固形炭素質物又は一酸化炭素ガスの共存の下に含鹽素ガスを通ずる方法である。

循環式マグネシウム電解製造法 (14年特許出願公告第3820號, 公告14-8-5, 東京, 旭電化工業株式會社) 本發明は電解により稀薄となれる鹽化マグネシウムを絶えず鹽素化室内に循環移動せしむることに依り電解質内溶浴の濃度を一定に保存して電解能率を増進すると共に循環鹽化マグネシウムの蓄熱を利用して使用電力を節約せんとする目的を以て一槽内を流通路を有する隔壁に依り順次に鹽素化電解室流出室に區分し鹽素化室内にてマグネシアを熔融電解鹽の溶浴内に於て炭素質物或は一酸化炭素の如き還元劑の存在の下に鹽素化して鹽化マグネシウムを製造し之を製造と同時に電解室内に供給して電解せしめ電解に依り濃度稀薄となれる鹽化マグネシウムは流出室内に排出せしめ之を適宜の手段により鹽素化室内に戻し之を熔融電解鹽の成分として循環利用するマグネシウム電解製造法にして圖は本方法



に於て圖は本方法實施に適する装置の構造を示す, 尙本發明は鹽素化室と電解室とを擴散通路を有する隔壁に依り連結せしめ

生成鹽化マグネシウムを絶えず擴散通路より電解室内に流入せしめて電解を行はしむる點に於てこの點を要旨とする特許第12,849號の權利を使用するものである。

鋳割れ模様の鍍金を爲す方法 (14年特許出願公告第3821號, 公告14-8-5, 東京, 田中華人, 酒徳宗司) 本發明は美妙なる模様の鍍金を簡單に形成せしむる目的を以て被鍍金物に着色ラッカーを塗布したる後該ラッカーのシンナーに黒鉛粉末を混加したるものを塗布し自然乾燥することに依り黒鉛皮膜に鋳割れ模様を生ぜしめて下塗着色ラッカー面を露出せしむる鍍金方法である。

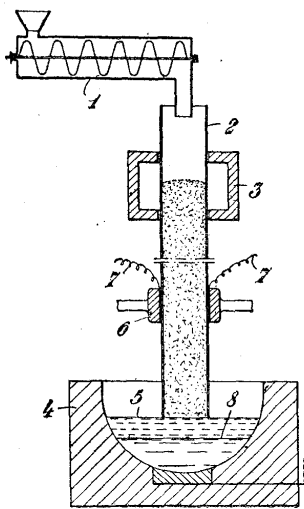
固體燃料の高壓ガス化に依る合成ガス製造法 (14年特許出願公告第3823號, 公告14-8-5, 獨乙, メタルゲゼルシャフトアクチエンゲゼルシャフト) 本發明はベンゼン其の他の高價値炭化水素化合物を合成するに好適なる合成用ガスを簡單に得んとする目的を以て酸素と水素とをガス化劑として使用し高壓下にて固體燃料をガス化するに當り該ガス化劑に使用酸素量の約半分乃至三倍量の炭

酸を添加しメタンの生成を極度に減退せしめ製品ガス内の一酸化炭素と水素との量比を一對二又はそれ以下の如くなす方法である。

浮游選炭用の重液製造法 (14年特許公告第3824號, 公告14-8-5, 戸畑市, 松野榮治) 本發明は粘度低く均質にして大なる浮游性能を具ふる洗炭用重液を簡單且經濟的に製造せんとする目的を以てデユナイトを破碎して微粉状となし其の適量を水と混合し該岩石ノ微粒子を水中に分散状に懸吊せしめて膠質液状となす方法である。

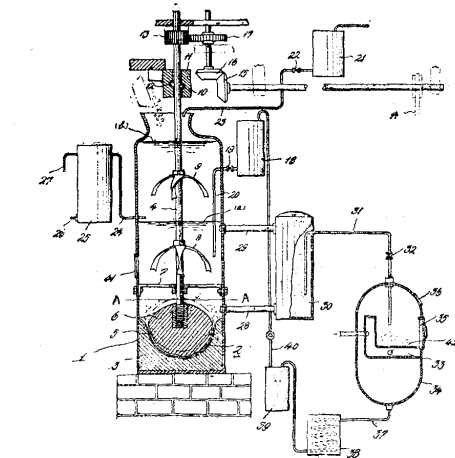
浮游選鑛機の改良 (14年特許出願公告第3825號, 公告14-8-5, 兵庫, 中村公一) 本發明は混氣鑛液浮選部を整流し耐時効果を確保する目的を以て起泡用翼, 混氣鑛液誘導装置及浮選部が互に對立せる關係にある堅型攪拌選鑛機の槽壁に螺旋狀の旋流板を設けた浮游選鑛機に關するものである。

炭素及珪素に乏しき鐵合金又は鐵及鋼の製造法 (14年特許出願公告第3826號, 公告14-8-5, 瑞典, ワルゲンス, アクチボラゲ) 本發明は簡單なる操作により別に特殊の精製處理を施す事無くC, Si等の少ない鐵合金又は鐵及鋼を製造する目的を以て適當の金屬酸化物又は酸化鑛石と珪素又は珪素金屬とを微粉状態にて且還元せる金屬を電導度を高むる微細粒子状にて分布せる半融體を形成する如き低温にて互に反應せしめ次て半融體を電氣爐に於て電極として使用し熔融する方法である。



圖は本方法實施の態様にして原料は(1)及び(3)内にて適當に加熱せられ還元後半融せしめられ爐中にて極として作用しつつ熔融するものである。

硫黄析出装置 (14年特許出願公告第3827號, 公告14-8-5, 東京, 走出忠太郎, 北村豊, 高根常太郎) 本發明は塊粒狀の硫黄鑛石を擦潰し完全に溶出せんとする目的を以て圖に示す如く内部下底に椀狀の擦臼を填在し且下層に二硫化炭素を満たし上層に水を充滿したる溶解槽に廻轉軸を挿入せしめ之が基端に螺着せる擦石を上記の擦石に擦り得からしめ且つ廻轉軸の槽外に於ける上部一側に突設せしめたる突子を軸承圓錐の内壁に設けたる導溝に嵌入せしむると共に更に上端に幅廣き齒車を固着して之を他の齒車に啮合せしめ廻轉軸が上記突子の導溝に沿ひて廻轉することに依り約三分の二廻轉丈上昇して擦臼と擦石とに間隙を生せしめたる間に鑛石を流し込むべく構成せしめた硫黄析出装置に係るものである。



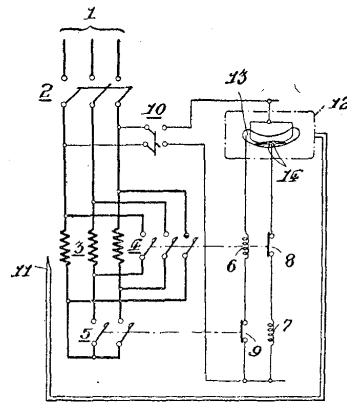
る。

アンチモン砒素等の酸化捕收法 (14年特許出願公告 3828號, 公告 14-8-5, 東京, 矢崎又右衛門) 本發明はアンチモン砒素等の高純度の酸化物を得んとする目的を以て原鑛より當該金屬を酸化物として焙燒離散せしめ其の揮發物のガス状態を呈し居る中に酸素を充分補給して之を高温に再熱する方法である。

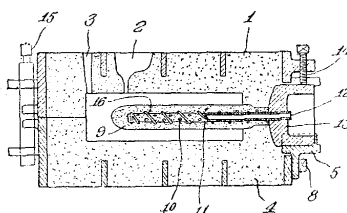
マグネシウム及マグネシウム合金の熔接用熔接劑 (14年特許出願公告第3829號, 公告14-8-5, 獨逸, イーゲー, フアルベインインプストリー, アクチエンゲゼルシャフト) 本發明は熔接後殘滓を簡單に水に依り洗滌除去し得べく而も熔接個所に分解腐蝕等の現象を惹起せざる如く爲さんとする目的を以てマグネシウム又は其の合金の熔接温度に於て相當するハロゲン化水素酸よりも揮發性少なく而も夫自身或は其の反應生成物が熔接せらるる金屬に對し有害作用を及ぼさざるが如き水溶性酸或は斯の如き酸の水溶性鹽即ち例へば磷酸モノアモニウム, 磷酸モノナトリウム, ピロ磷酸ナトリウム, の如きオルソ又はピロ麟性反應を呈するアルカリ鹽, メタ麟酸, 硼酸或は蓆酸を含有するマグネシウム又は其合金用の熔接劑に係るものである。

覆鉛鍍製造法 (14年特許出願公告第3830號, 公告14-8-5, 東京, 岩切重雄) 本發明は温度壓力の變化に耐へ且ピンホール等少き覆鉛鍍を製造せんとする目的を以て覆鉛すべき金屬鍍と鉛鍍とを重合し少く共其の周圍を氣密に接着し次に一方の鍍に透孔を穿設貫通せしめ且透孔に連通せる管を鍍面より突出せしめ該管より兩鍍間に存在する氣體を排氣せしめたる後管を熔着切斷し透孔を充填せしむる覆鉛鍍の製造法に係るものである。

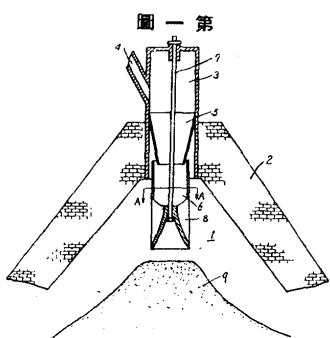
抵抗式電氣爐自動温度調整装置 (14年特許出願公告第3850號, 公告14-8-5, 東京, 東京芝浦電氣株式會社) 本發明は短時間の温度上昇並に所要温度の維持を爲し得る抵抗式電氣爐自動温度調整装置にして圖示せる如く發熱體と三角結線用接觸器と星型結線用接觸器と温度應動の接觸器制御用開閉装置とを有し上記温度應動の接觸器制御用開閉装置により爐の始動に際しては發熱體を三角結線と星型結線の交互反覆切換を行はしめ常態に於ては星型結線と發熱體への給電中止との組合せを以て所要温度を維持すべく構成せるものである。



鑄型に於ける中子支持装置 (14年特許出願公告第3870號, 公告14-8-8) 本發明は鑄型の中子を中心位置に的確に支持せしむる目的を以て圖示せる如く型枠に支承片を設け該支承片上に中子支持片を載置して之を締着物を以て緊締せしむべくして中子を鑄型内に固定的に裝備せしむる如く構成せる中子支持装置に係る。

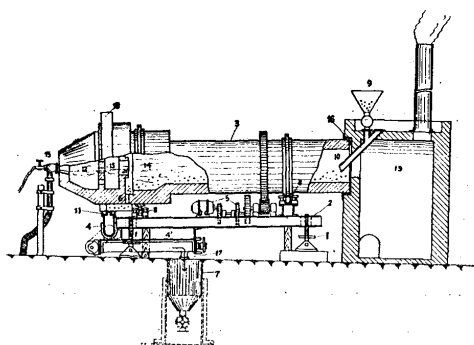


石灰窒素製造釜に於ける原料供給装置の改良 (14年特許



釜に設置せるものである。

廻轉管状爐 (14 年特許出願公告第 3892 號, 公告 14 8-8, 東京, 安藤陣一) 本發明は高温燃燒ガスを得且つ之を爐内に一樣に吹送して鐵の還元を容易且迅速ならしむる目的を以て爐の一端より製鐵原料例へば砂鐵と共にコークス粉末等を供給し之を他端より送る燃燒焰により加熱還元して還元鐵を製造する廻轉管状爐に於て圖示せる如く燃燒室を隔壁により二室に區劃せるものである。



造する廻轉管状爐に於て圖示せる如く燃燒室を隔壁により二室に區劃せるものである。

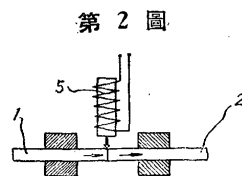
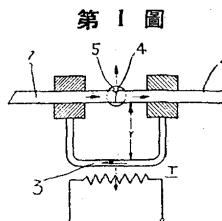
熔融溫度に於て比較的高き蒸氣壓を示す物質特に金屬類の蒸氣を凝縮する方法 (14 年特許出願公告第 3893 號, 公告 14-8-8; 朝鮮, 日本マグネシウム金屬株式會社) 本發明はマグネシウム等を加熱還元して蒸氣となし之を凝縮採取するに當り液體及固體の兩種の凝縮物の不可避的生成にも拘らず凝縮器より全蒸發物質を液狀にて得んとする目的を以て其の蒸發物質の凝固點以下及以上の相異なる溫度の二つの凝縮階程内を順次に流過せしめ且同時に固形及液狀沈積物として凝縮せしむるに際し第一階程に於て凝縮物の大部分を液相として沈積せしめ殘餘の部分を第二階程に於て固狀に凝縮せしめ次にこの沈積物を連續的操作により液相のもとと結合せしめ全體を液狀にて得る方法である。

電氣鍍金用被鍍金材面の處理方法 (14 年特許出願公告第 3894 號, 公告 14-8-8, 大阪市, 造幣局長) 本發明は被鍍金材面を荒損せしめずに之に附着せる脂肪分其の他電氣鍍金に於ける障害物質を極めて簡単に脱離し鍍金を優良ならしむる目的を以て被鍍金材面を弱アルカリ性液にて洗滌し然る後該面に生卵白を塗擦し後之を水洗脱除する方法である。

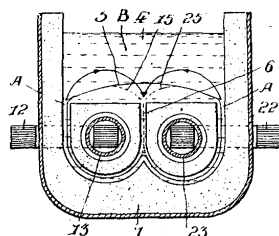
硝子と金屬との封接物 (14 年特許出願公告第 3895 號, 公告 14-8-8, 川崎市, 東京電氣株式會社) 本發明は硝子の軟化溫度より室溫に至る凡ての溫度に於て常に硝子と金屬との間に歪を生ぜざる如くなす目的を以てニッケル 33~44%, コバルト 0~6%, 殘留鐵より成るニッケル鐵合金と該合金に熔着するアルカリ成分の低き硼硅酸硝子とより成り該合金と硝子とは各自の熱收縮特性が其變移圈の上下兩端に於ける溫度に於て殆ど相一致する程相互關係を有する封接物に係る。

銜合熔接機 (14 年特許出願公告第 3919 號, 公告 14-8-8, 東京, 株式會社日立製作所) 本發明は簡單なる裝置にて銜合部に生起する電磁的歪曲作用を防止し優秀なる熔接をなさんとする目的を以て熔接用變壓器二次導體と被銜合熔接材との間に作用する電磁力に

依り前記被熔接材銜合部に生起せんとする歪曲作用を防止せしむべく該銜合部に對し前記電磁力を相殺すべき磁氣熱力を添加せしむる圖示せる如き裝置に係る。

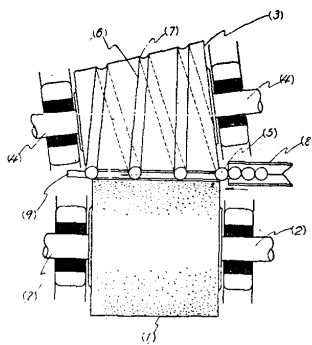


縦環型單相誘導電氣爐 (14 年特許出願公告第 3920 號, 公告 14 8-8, 東京, 東京芝浦電氣株式會社) 本發明は熔融金屬の上昇運動を循環運動に轉用し熔融金屬の循環作用を良好ならしめ爐の加熱効果を増大せしむる目的を以て圖示せる如く並列に分割せる複數の一次線輪を繞りて熔融金屬よりなる左右の二次電流回路を形成せしめ該左右の二次電流回路の中間に上記二次電流回路の一部を互に共用して熔融金屬の循環對流通路を設けたる縦環型單相誘導電氣爐に係る。



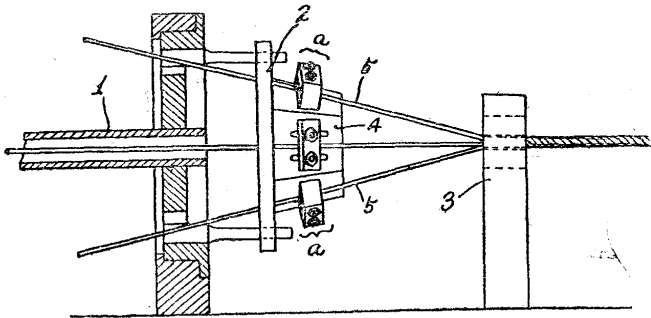
砂型用材料製造法 (14 年特許出願公告第 3932 號, 公告 14-8-10, 市川市, 山崎卓藏) 本發明は粘着性強き砂型油を以て複雑精巧なる且つ強固なる生型を得て優良なる鑄造を爲すべき砂型を容易に得べき材料を得んとする目的を以て乾燥油又は半乾燥油を少くとも 250°C 以上に於て加熱重合せしめて 50°C に於ける粘土 1,000 秒以上のもとなし之を乾燥劑の存在に於て加熱處理し鑄造用砂と混和し常法により砂型を得べき砂型用材料を製造する方法に係る。

鋼球體研磨機 (14 年特許出願公告第 3939 號, 公告 14-8-10; 富山市, 不二越鋼材工業株式會社) 本發明は丸棒砥石と對峙し一定間隙を保有して螺旋狀溝を刻設せる圓錐砥石を圖示せる如く互ひに逆方向に廻轉し得る如く模架軸設し兩者間隙に鋼球體を嵌挿し之れを摺動して自轉せしめつつ供給横送すべくなし且前記螺旋狀溝の各位置に於ける圓周速度の相違により之に摺動する鋼球體の自轉軸及速度を變化せしむる如く構成せる研磨機に係る。



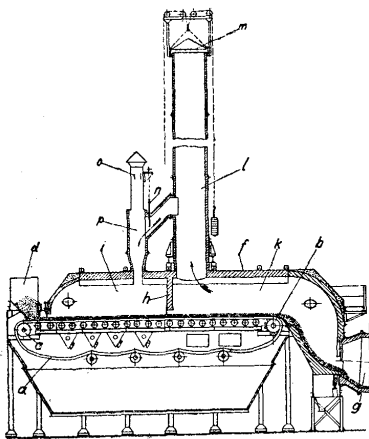
鋼索製造裝置 (14 年特許出願公告第 3940 號, 公告 14-8-10, 大阪府, 關西製鋼株式會社) 本發明はストランドを撚成するに當りこれらの配列構成を完全に所要の狀態に保持せしむる事に依り鋼索の全長に互りストランドの緊密接觸をなす優良なる鋼索を得る目的を以て圖面に示す如く管軸と共に回轉する配線用鏡板の前面にスト

ランドの進行方向と略平行なる傾斜案内面に周面に設けたる支持體の底面を装着し該支持體の周面に之等の傾斜案内面に沿ふて前後に調節移動せしめ得べき移動片をストランドの數に等しく且ストランドの夾角に等しき位置に設け之等の移動片に夫々支持體の中心に對して同一の向きを有し且ストランドの自由回轉を防止すべき形狀を有する誘導孔を設け之等の誘導孔に各ストランドを挿通し鋼索熱成に當り各移動片を上記傾斜案内面に沿ふて前記に移動調節し同一垂



直平面上に於て誘導孔の向きとストランドの向きとを一致せしめたる點に於て移動片を支持體に装着せる鋼索製造装置に係る。

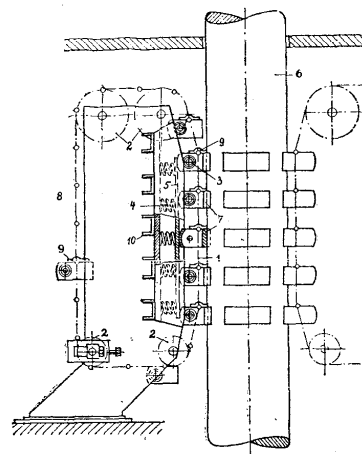
爐装入原料の豫備熱處理装置 (14年特許出願公告第3951號, 公告14-8-10, 獨乙, ゲー, ポリジウス, アクチエンゲゼルシャフト)



本發明は豫備的熱處理装置に於て原料を急激に熱し飛散せしむる事無く完全に乾燥又は豫備的熱處理をなし更に半融又は熱處理せしむる目的を以て圖示せる如く熱處理室と乾燥室とを一個若くは數個の上昇導溝により互に結合せられ之に新鮮なる空氣を取入るべき調節装置を設け乾燥室と熱處理室とより成る豫備的熱處理装置と其の廢ガスが豫備的熱處理に利用せらるゝ案例へば廻轉爐とを連結せる装置に係る。

礬土質原礬より直接還元によりアルミニウムを製する方法 (14年特許出願公告第3952號, 公告14-8-10, 東京市, 山本忠興, 岡崎顯二郎) 本發明は礬土質原礬より直接還元により容易に純アルミニウムを得んとする目的を以て礬石に炭素, 珪石, 鐵又は鐵礬を加へ電氣爐で熔融しアルミニウムカーバイドと珪素-鐵アルミニウム合金とを生成せしめ次に之に適量の酸化鐵及珪石を加へ全部を珪素鐵アルミニウム合金となす公知の方法を経たる後之を別の電氣爐に移し適量の珪素又は珪素鐵を加へ加熱し金屬アルミニウムと珪素鐵とを生成せしめ比重差により分離採取する方法である。

電氣爐の電極用給電及移動裝置 (14年特許出願公告第3988號, 公告14-8-10, 獨逸, アクチエンゲゼルシャフト, フェール, ステックストッフデュンゲル) 本發明は電流を遮斷する事無く且爐の操業を中斷する事なく押壓接觸板を取換へ得べく且押壓力を均等になし電極を正確に導く目的を以て圖示せる如く電極に平行にロールに依り所定の同一の高さに於て電極に沿ひて導過せしめられ且殊に適當なる無限軌條帶として形成されたる一個又は夫以上の且輪鎖上に押壓接觸板を該接觸板が一個又は夫以上の並輪鎖の電極に沿ひ



て導過せしめらるゝ部片上に於て殊に適當なるは同時的にこの個所に電流を通ずる作用を爲すべき共通の壓力傳導部材に依りて電極に對して壓着せらるゝ如く構成せる電極用給電及移動裝置に係る。

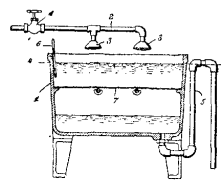
強力輕合金 (14年特許出願公告第4034號, 公告14-8-12, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 本發明は強力にして時期割れなき合金を得んとする目的を以て

Zn 4~20%, Cu 1~3%, Mg 1~3%, Ti 0.01~0.5%, Mn 1.2~3%, 殘部 Al よりなる輕合金に係る。

硬度高きアルミニウム合金 (14年特許出願公告第4035號, 公告14-8-12, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 本發明は特許第114321號の追加發明にして Zn 5~25%, Mg 1~5%, Li 3%以下, 銅 3% 以下, 殘部 Al よりなる輕合金にして特に硬度高く例へばブリネル 150 以上を呈するものである。

鐵管に鉛管を又は鐵板に鉛板を裏張りする方法 (14年特許出願公告第4036號, 公告14-8-12, 尼崎市, 石倉啓丞) 本發明は鹽化亞鉛, 鹽化アムモニア及樹脂粉末等を配合してなる鐵の熔融前に於ては電氣絶縁性を有する接着性被膜を以て四周を被包したる細長き條帶狀鐵材數條を適當間隔を隔て對向端縁間に連通する如く介在せしめて鐵管に鉛管を内裝し又は鐵板に鉛板を重合し該重合管の中空内又は重合板の外側に水壓を作用せしめつつ上記鐵材に兩端より瞬間的強電流を通じて接着剤と共に熔解せしむると同時に中間重合面に一様に溝出せしめて兩者を接着し以て裏装する方法に係る。

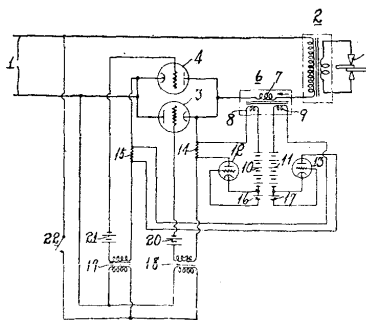
燒入装置に於ける油冷却裝置 (14年特許出願公告第4037號, 公告14-8-12, 愛知縣, 株式會社豊田自動鐵機製作所) 本發明は燒



入油が過度に上昇せる場合直ちに之を所定の溫度に冷却せんとする目的を以て圖示せる如く油槽の上方に導水管を配置し油の溫度が過度に上昇せる時該導水管より油中に注水し直接接觸により油を冷却せしめ比重差

により分離し水を下底より排水管により排水する如く構成せるものである。

抵抗熔接機に於ける放電管制御裝置 (14年特許出願公告第4058號, 公告14-8-12, 大阪市, 大阪電氣株式會社) 本發明は圖



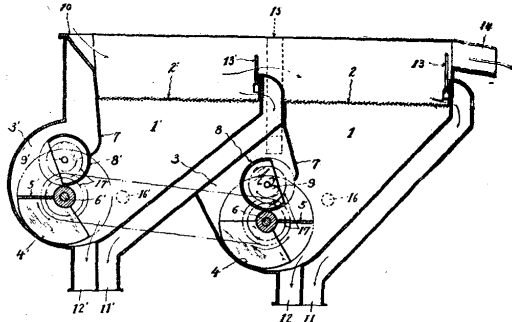
示せる如く熔接用變壓器の二次回路に熔接電極を接続し一次回路に二個の放電管を並列に接続せる抵抗熔接機に於て前記二個の放電管の格子回路に抵抗を挿入し負荷電流により二個の制御用放電管を半サイクル毎に交互に點滅せしむる如くなし其の陽極電流を該抵抗

を通せしめて熔接回路用放電管の格子電極に負電位を與へ該放電管の一方が不動状態となりたる時他方の格子電壓を其臨界電壓以下に保持すべくした装置に係る。

附双バイト製作方法 (14年特許出願公告第4059號, 公告14-8-12, 東京市, 松繩信太) 本發明は双片と双受小片よりなる双先體と柄杓との電氣火花熔接に當り熔融速度を異にする異金屬の接合よりなる双先體の熔着面全體を均等に熔融接着せしむる目的を以て双片と双受片とを先づ抵抗熔接しこれに硬鋼よりなる柄杓を電氣火花熔接をする時双片と双受片との接着せる双先體の側面なる柄杓の熔着面全體を唯一種の金屬層にて被覆し置き柄杓との電氣火花熔接により前記金屬層を熔融せしめ之を介して兩者を接着せしむる附双方法に係る。

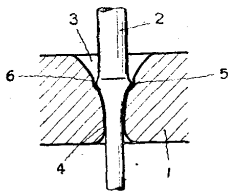
鋼マンガン合金用熔接棒 (14年特許出願公告第4060號, 公告14-8-12, 東京市, 株式會社日立製作所) 本發明は熔接に際し熔融せる時マンガン鋼を生成する如き種の熔接棒として熔着部分の混入マンガン量を任意に選定し得ると共に該部分の材質を均一ならしむる目的を以て軟鋼棒芯線の表面に該線に對し5~10%の重量比を有するフェロマンガンを例へば小麦粉の如き澱粉糊料と混して塗布し乾燥後之を水硝子中に浸漬し更に充分乾燥せる後脱酸脱窒劑及電弧安定劑等を含有せる被覆劑を被着したる熔接棒に係る。

水洗選別機 (14年特許出願公告第4080號, 公告14-8-15, 佐賀縣, 呼子實一) 本發明は特許第130174號の追加發明にして圖示

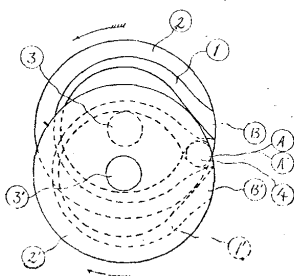


せる如く網篩を設置せる洗炭槽に接して下方に於て該槽に連絡する側室を成形し該連絡部には其底壁に成形せる圓弧狀導壁を滑動せしむべくしたる羽根鋸を下位に軸裝すると共に上位には炭槽と側室との隔壁端と羽根鋸の轂部とを滑動せしむべく圓弧狀の隔壁鋸を軸裝したる鑽石, 石炭等の水洗選別機に係る。

線管引用型體 (14年特許出願公告第4091號, 公告14-8-15,



大阪市, 株式會社住友電線製造所) 本發明は型體の壽命を長からしめ且表面平滑なる線管を得んとする目的を以て圖示せる如く型孔入口の孔面と被伸延體とか接觸し始むる箇所にて於て該孔面に環狀溝を穿設せる型體に係る。



鋼球體製造裝置 (14年特許出願公告第4093號, 公告14-8-15, 大阪市, 山根勝) 本發明は原材に多少の大きさの異なるも支障なく簡單迅速に球體を製造せんとする目的を以て圖示せる如く一側面上に其の兩端

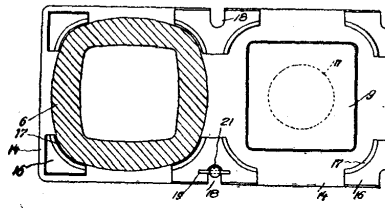
を圓周外面に開放したる出入口より圓弧狀に連續して漸次小徑口ならしめたる代りに深くしたる適宜半圓狀溝を穿設せる相等しき圓盤體二個を其の中心を同一線上にあらしめ適宜距離を隔てて該圓弧狀半圓狀溝側を相對向する如く接觸せしめて設置し之を適宜低速度にて各々反對方向に等速に廻轉する如く構成せる鋼球體製造裝置に係る。

海綿鐵製造裝置 (14年特許出願公告第4103號, 公告14-8-15八幡市, 江上松次) 本發明は還元處理物を酸化する事無く爾後處理に好適なる溫度まで冷却する目的を以て可及的氣密とせる廻轉管爐の鼓動室に二股狀の嘴管を連結し前記嘴管の下端取出部は併置せる冷却槽に夫々連結し嘴管を交互に開閉する切換扉を樞支し冷却槽の排出口には扉蓋を樞着したる管狀爐に係る。

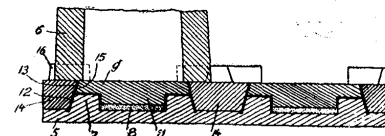
マグネシウム合金 (14年特許出願公告第4104號, 公告14-8-15, 獨逸, ゲオルグフオンギツシエス, エルベン) 本發明は N と K とを合せて1~5% 又は Na 2~5%, 或は K 1~5%, を含むマグネシウム合金にして特に耐蝕性大なるものなり。

冷鑄型用底版 (14年特許出願公告第4145號, 公告14-8-19, 獨逸, ノインキルヘル, アイゼンウエルク, アクチエンゲゼルシャ

第1圖

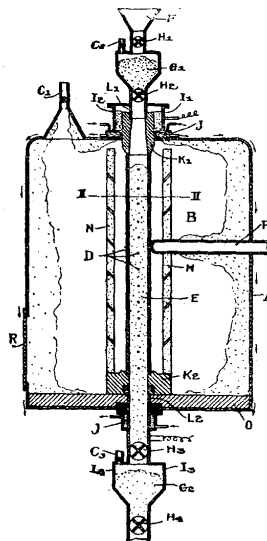


圖四第



フト, フォルマルス, ゲブリューデル, シュタム) 本發明は圖示せる如き冷鑄型の底部を形成する置換し得る損耗鋸を基鋸上に設け前記兩鋸により形成せられたる空間には不燃性材料を以て填充し該損耗鋸を杵により基鋸に連結支持せしめたものである。

還元蒸餾に依る金屬マグネシウム連續製造裝置 (14年特許出願公告第4162號, 公告14-8-19,



滿洲國, 滿洲輕金屬製造株式會社) 本發明は同一室内に於てマグネシウムの還元並に凝縮を行ひ簡單にマグネシウムを製造する目的を以て圖示せる如く外壁を空冷又は水冷し内部を減壓状態に保持したる凝縮室の中央に透過性壁を有するレットを裝備しレット自體を電熱體となし又は周圍に設けたる電熱體に依り加熱し還元する裝置に於て加熱體と周圍に遮熱壁を設けたるマグネシウムの還元蒸餾採取裝置に係る。

耐蝕性強大なる Mg, Mn, Te 合金 (14年特許出願公告第4163號, 公告14-8-19, 關東洲, 南滿洲鐵道株式會社) 本發明は耐蝕性大なる Mg 合金を得る目的を以て Mg に Mn 0.1~3%, Te 0(5~3%, を含有せしめ尙場合に依りては 0~3% の範圍内に於て Ca, Hf, As, Se , を添加せる Mg 合金に係る。

超強アルミニウム輕合金 (14年特許出願公告第4164號, 公告14-8-19, 東京市, 航空研究所) 本發明は適當の熱處理に依り

抗力大にして靱性強く耐蝕度高く且時季割れ少き Al 合金を得る目的を以て Cu 1.5~4.5%, Mg 1.0~3.0%, Zn 6.0~10.0%, Mn 0.5~1.5%, Sn 0.1~1.0%, Si 0.8% 以下, Fe 0.8% 以下を含有せる Al 合金に係る。

ガス脱硫法 (14 年特許出願公告第 4221 號, 公告 14-8-22, 川口市, 堤 繁) 本發明は工業用ガス中の硫黄を除去する目的を以てニツケルと銅との還元金屬狀又は酸化物, 水酸化物, 炭酸鹽等の化合物狀混合物を其の儘或は珪藻土石綿輕石等中に分散せしめたるものにて處理する方法に係る。

金屬片等の表面に附着せる脂肪油等を除去する装置の改良 (14 年特許出願公告第 4223 號, 公告 14-8-22, 東京市, 柳町政之助) 本發明は脂肪油等に対して可溶性の溶劑及其の蒸氣を利用して金屬片等の表面に附着せる脂肪或は油等を除去する装置に於て溶劑を加熱すべき装置を備ふる高温液槽と溶劑を冷却すべき装置を備ふる低温液槽とを併置し上部を凝汽器を備ふる共通の蒸汽室とを設けたる除去装置に係る。

模造アルミ粉製造法 (14 年特許出願公告第 4224 號, 公告 14-8-22, 京都市, 福田伴三郎) 本發明は外觀アルミニウム粉と異なる粉を得る目的を以て雲母粉に少量の Al 粉を加へ微細粉とせる模造アルミ粉に係る。

明礬結晶より純アルミナの製造方法 (14 年特許出願公告第 4295 號, 公告 14-8-25, 大阪市, 住友化學工業株式會社) 本發明は明礬結晶より純アルミナを製造する目的を以て明礬結晶を水溶液となし加壓状態に於て液體アムモニアに依りて之を中和し或は常壓にて重炭酸アムモニアにて依りて之を中和したる後濾過洗滌を行ひて得たる粗製水酸化アルミニウムを 1,200°C 内外の酸化性燃焼ガス中に於て焙焼し之を 5~10% の鹽酸又は硝酸に處理して純アルミナを製造する方法に係る。

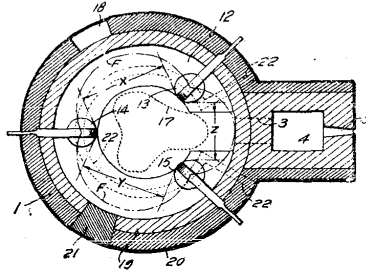
無煙炭の燒撥性を除去する装置 (14 年特許出願公告第 4298 號, 公告 14-8-25, 朝鮮, 朝鮮化學工業株式會社) 本發明は耐火製圓筒の内部に環狀間隙を有する笠狀熱風噴出器を上下二箇所以上横架し上段の噴出器には 150°C 内外の熱風導管を又下段噴出器には 250°C 内外の熱風導管を連結し笠狀熱風噴出器の直下に下方狹窄せる圓錐形の無煙炭受器を設け最上部には熱風を排出すべき排風機を備へ且つ上部の熱風噴出口の直下より處理せんとする無煙炭を連續的に裝入し下方より不斷排出し其の落下中上昇する熱風に接觸する如く構成せる装置に係る。

ネームプレートの製造法 (14 年特許出願公告第 4301 號, 公告 14-8-25, 埼玉縣, 野口達) 本發明は鮮明なるネームプレートを簡易迅速に製造する目的を以てアルミニウム又は其合金の表面に公知の電氣化學的處理をなして得たる酸化皮膜層に必要に應じて染料液に浸漬し着色せる後耐アルカリ性印刷インキにて所要の文字圖形等を印刷し之を苛性曹達液中に浸漬し次に印刷せる部分にアスファルト粉末を被着せしめ然る後鹽化鐵液の如き腐蝕劑にて腐蝕せしめ最後に腐蝕部分に漆エナメル等の如き塗料を充填する方法に係る。

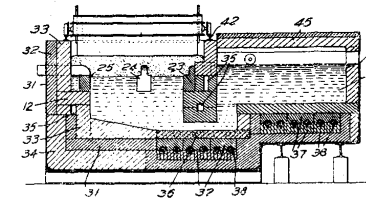
合金鋼熔接棒 (14 年特許出願公告第 4332 號, 公告 14-8-25, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 本發明は C 0.10~0.25%, Cu 0.05~2.0%, Mo 1% 以下, Si 0.1~1.5%, を含み Cr を 0.5~2.0% を含み又は含まぬ合金鋼熔接棒に係り特に汽罐又は壓力容器等のガス熔接又は電氣熔接等に對し好結果をもたらすものである。

多相電氣爐 (14 年特許出願公告第 4333 號, 公告 14-8-25, 米國, インヅ, アール, コルネリウス) 本發明は部分的過熱を避け裝

第 2 圖



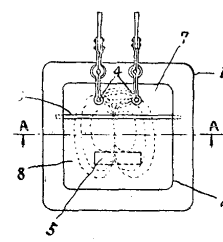
第 12 圖



入物を一様に保持し得る目的を以て圖示する如く室と處理物の潛入排口と精製室と該排口の各側に於ける電極と前記室の他側に在りて該排口と一直線を成す第三の電極とを有し排口の各側にある二電極間の間隙又は前記排口の直上に配置せる第四の電極と前記兩電極との間の間隙を之等兩電極と第三電極との間の間隙に比し小ならしめ以て融解區域の水平區分を通しての溫度を實際的に均等な

らしむる様なしたる電氣爐に係る。

鹽槽式電氣爐 (14 年特許出願公告第 4334 號, 公告 14-8-25,

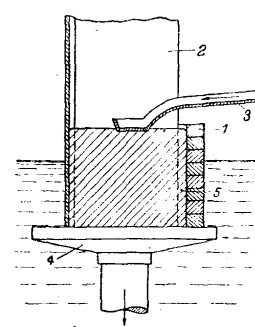


東京市, 富士電爐工業株式會社) 本發明は被加熱物に電流が分流し之を蝕傷する事を防止する目的を以て鹽槽を加熱装置を設けたる發熱室と被加熱物を投入する作業室とに分つ様鹽槽内に區劃を設け該區劃を特に電氣導體を以て造り發熱室より作業室中の被加熱物に電流の分流する

事を防止するも兩室間の熔劑の對流を阻害せざる様構成せる鹽槽式電氣爐に係る。

炭素電極灰分除去法 (14 年特許出願公告第 4336 號, 公告 14-8-25, 横濱市, 日本カーボン株式會社) 本發明は原料中に夾雜する鐵アルミニウム等の不純物を除去する目的を以て炭素又はグラフアイト等を主成分とする電極を燒成する場合に少量の食鹽を混入し之を壓搾生成後燒成し前記不純物を揮發除去す方法である。

アルミニウム合金より鑄塊を製造する方法 (14 年特許出願公告第 4352 號, 公告 14-8-30, 獨逸, フェライニヒテ, ライヒト

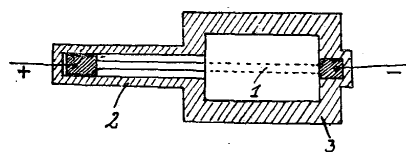


メタルウエルケ, ゲゼルシャフト, ミット, ベシユレクテルハフツング) 本發明はアルミニウム殊に銅含有アルミニウム合金より巢並に表面瑕の無き鑄塊を得る目的を以て圖示する如く鑄込樋を導入すべき開放部を備へたる薄板より成れる急冷鑄型壁を鑄造臺上に載裝し前記開放部を薄板壁用支持装置たる扇形體により閉鎖して形成せる鑄型を下方の浴冷中に移動降下せしめつつ鑄造する方法に係る。

電極 (14 年特許出願公告第 4396 號, 公告 14-8-30 川崎市, 富士電機製造株式會社) 本發明は製作簡易且經濟にして而も逆弧發生し難く有害ガス放出の少き電極を得んとする目的を以て素心をなすべき金屬體の表面を砂面とし之にコロイド狀グラフアイト層を燒付け硬着せめる方法に係る。

電氣抵抗爐 (14 年特許出願公告第 4408 號, 公告 14-8-30, 東京市, 沖本希三) 本發明は發熱體の破損又は酸化消耗を防ぎ爐の操

業を簡易ならしむる目的を以て圖面に示す如く爐の周邊の一部又は



數ヶ所に發熱體收容筒を設け發熱體を使用せざる時は該筒内は收容し使用時は之を突き出して使用する如く構成

せる抵抗爐に係る。

高壓中空體の製法 (14年特許出願公告第4363號, 公告14-8-30, 獨逸, ドルトムンド, ヘルデル, ヒュツテンフェルアイン, アクチエンゲゼルシャフト) 本發明は複數個の金屬薄板を壓延重疊し之等を其縱方向の接目に沿ひて熔接し斯くして形成せられたる集合體を火造溫度に加熱し比加熱體を成形して各層を一體的に熔接粘着せしめ以て均一體と爲す方法に係る。

多數の扁平螺旋形針金を傳熱管の表面に接着する方法

14年特許出願公告第4364號, 公告14-8-30, 東京, 宇平光太郎) 本發明は簡易なる手段に依り多數の扁平螺旋針金を所定の配列を以て整然と管の周圍に裝着し傳熱效果大なる傳熱管を製作する目的を以て適當の間隔を置いて平行に並べたる多數の扁平螺旋針金を細線を以て横方に聯結したる後各扁平螺旋形針金の軸が傳熱管軸に平行なる状態にて彎曲せしめつつ管の表面に接着固定せしむる方法に係る。

特許拔萃

番號	特許	特許權者	公告拔萃
130664	超耐蝕性高力アルミニウム, 合金	陸軍大臣	第25年4號
130679	高含鐵黃土の特殊處理法	久木不二男	なし
130680	研磨用アルミナ粉末製造法	鐘淵紡績株式會社	なし
130685	インゴットケース	榎本角右衛門	第25年3號
130699	簡易金及銀鍍金方法	吉田正一 外一名	第25年3號
130714	アルミニウム合金	日本火工株式會社	第25年3號
130759	鑄塊製造鑄型内面塗料	坂井幸二郎	第25年3號
130771	二酸化硫黃及二酸化硫黃を含有するガスより元素硫黃を收得する方法	メタルゲゼルシャフト, アクチエンゲゼルシャフト	なし

130773	金屬壓出装置の改良	ダブリュー, テー, グロバー, エンド, コムパニー, リミテト	第25年4號
130777	鐵 鈹 蝕 彫 法	棚澤勝二	なし
130781	繼合管の製造装置	壽美井鷹一	なし
130791	ディーゼル機關ピストン用低膨脹高力輕合金	株式會社新潟鐵工所	第25年4號
130802	金屬鈹壓展装置	佐々木くら	なし
130810	アルミナ精製法	東京工業試験所長	第25年3號
130835	電弧熔接性を有する高硬度耐摩合金	南滿洲鐵道株式會社	第25年4號
130836	マグネサイト燒成法	〃	なし
130849	永久磁石の製造方法	シーメンス, ウント, ハルスケアクチエンゲゼルシャフト	第25年4號
130926	砂金採取機	本田恒吉 外一名	なし
130928	亞鉛華製造装置	桑原幸次郎	なし
130939	鑛石又は其類似物の選別機	シエラ, レオン, デベロップメントコムパニー, リミテツト	第25年5號
130943	アルミニウム金屬態の製法	東京電氣株式會社	なし
130975	アルミナ鑛石處理法	財團法人, 理化學研究所	なし
130976	圓錐筒形尖頭を有し中空なる金屬製品の輾壓製造方法	〃	なし
130978	ガス發生爐用木炭の製造法	南時次 外一名	なし
130992	回轉管狀爐の中腹に於ける給氣裝置	日本特殊鋼管株式會社	第25年3號
131001	電弧熔接棒	東京芝浦電氣株式會社	第25年5號
131016	原鑛處理法	日本高周波重工業株式會社	なし
131019	海綿鐵處理方法	東京鋼材株式會社	第25年5號
131022	均質ケルドボール製造機	中谷次作	第25年5號
131040	破 碎 機	熊澤政一	なし
131052	磁氣的分離機	チエルバルヂ株式會社	なし